

成功者

2021. 9. 8

成功者というと、一般的には、トップに立った人、勝った人、お金持ちになった人、地位と名誉を手に入れた人などとなるだろうか。元プロテニスプレーヤー、熱い男、松岡修造氏は、成功者について次のように言っている。

成功者というのは、勝った人とかトップに立った人ではなく、その分野で一所懸命に生き、人生のチャンピオンとして輝いている人

こう考えると、教員でも人生のチャンピオンになれるし、成功者にもなれる。いや、一人一人の教員が、そうならなければならない。教育という分野、学校という教育の場で一所懸命に生き、輝いていなければならない。

「ヒューマングルメンタリー オモウマイ店」というテレビ番組がある。今のテレビ番組には、料理や食事を扱ったグルメ番組、大食いを競う番組などが多い。出演者の顔ぶれからして「オモウマイ店」もその手の番組かと思ったが、ちょっと違った。

オモウマイとは、「オモてなしすぎでオもしろいウマイ店」のことである。日本全国には、私たちの想像をはるかに超えるびっくりなお店がある。ウマイ、安い、おもしろい店がある。お客さんへのサービスがすごすぎて笑える店である。

これらのお店の人というのは、たいていの場合、ぶっきらぼうで愛想もよくない。口もわるい。だから、接客が特別すばらしいというわけではない。すばらしいのは、料理の量と、味と、値段である。過剰なほどのサービスの数々である。すばらしいを超えてびっくりするレベルである。

なぜ、そうってしまったのか。どのお店の方も一所懸命に働き、お客さんの喜ぶ顔を見たり、「おいしかった」「また来ます」という声を聞いたりしているうちに、尋常ではないおもてなし、サービスになってしまったということだろう。

お店を増やしたり、店舗を新しくしたりするわけではない。一つの店で地道にがんばっている。それでも、りっぱな成功者であろう。まさしく人生のチャンピオンである。お店の経営状態は心配なところもあるが、当の本人たちは、満足しているはずである。

この番組は、バラエティーに入るのだろう。確かにおもしろいのだが、その一方で泣けてくるのである。だから、ヒューマングルメンタリーなのだろう。お店の方々は、皆、個性的である。味のある人たちである。口はわるいが、心は優しい。人間味がある。人間的魅力に溢れている。これも、成功者が醸し出すものなのだろう。